

単元名 6 いにしへの心を訪ねる 一仁和寺にある法師―「徒然草」から

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 古典の文章独特の調子やリズムを意識して朗読することができる。
現代語訳や語注などを手
掛かりにして、法師の言動やそれに対する作者のものの見方、考え方を理解することができる。
(2) 法師と同じような経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合うことができる。
文章の構
成を工夫して、古典の登場人物について論じる文章を書くことができる。
(3) 積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとする。

標準的な展開例

11210217_001

【準備等】国語指導CD，再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「序段」「仁和寺にある法師」を朗読し、「序段」の内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「目標」(p. 158)を確かめ、本時の学習課題をつかむ。 ★全文を朗読し、「序段」の内容を捉えよう。 ○序段を歴史的仮名遣いや古語の読み、省略されている助詞や語句などに注意しながら、朗読する。 ○序段の内容を捉え、作者の考え方を読み取る。 <p>○「仁和寺にある法師」を歴史的仮名遣いや古語の読みを確認しながら聞く。</p> <p>○「仁和寺にある法師」を朗読する。</p> <p>2 「仁和寺にある法師」を朗読し、作者のものの見方や感じ方を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★「仁和寺にある法師」を朗読し、作者のものの見方や感じ方を読み取ろう。 ○「仁和寺にある法師」を朗読する。 ○仁和寺の法師の言動に注目しながら、あらすじを理解する。 ○仁和寺の法師の失敗について考える。 ○仁和寺の法師の言動について、兼好法師がどのように考えているかを話し合う。 ○学習を振り返る。 <p>3 登場人物の特徴を捉え、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習課題をつかむ。 ★古典の登場人物の特徴と、自分の考えを論じよう。 ○「平家物語」「徒然草」の登場人物から、論じる人物を決める。 ○人物の特徴を一文程度で表し、その根拠を明確にまとめる。 ○書き上げた文を読み合い、感想や意見を交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師による範読，または国語指導CDを利用する。 ・兼好法師について説明しておく。 ・冒頭部分の現代語訳から、作者の生き方や考え方が分かることについて触れる。 ・「つれづれ」「日暮らし」「そこはかとなく」など、兼好法師が「徒然草」の執筆を始めた理由を考えさせる。 【評】「徒然草」執筆の動機について読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・歴史的仮名遣い等を確認しながら教師が読む ・範読のあとに続いて読む，ペアで読み合う，グループで分担して読む，群読をするなど，生徒の実態に応じてさまざまな形態で朗読させるとよい。 ・前時の学習を想起し，正確に朗読させる。 ・「心うし」「ゆかし」「あらまほし」「本意なれと思ひ」などの言葉の意味に着目し，法師の心の動きを読み取らせる。 ・傍注を手がかりに，法師がどうして失敗したのかを，多様な視点から考えさせたい。 【評】法師の失敗の原因を読み取る活動を通して，「知識・技能」を評価する。 ・最後の一文の意味を考えさせる。ただの皮肉ではなく，「先達がいれば，仁和寺の法師も長年の願いを果たすことができたのに」という残念な思いが含まれていることに気付かせたい。 ・「学習を振り返る」(p. 160)を使って，自己評価させる。 ・前時までの古典学習を振り返って，登場人物を挙げてよい。 ・例文 (p. 161)を参考にし，300字程度の文章にまとめさせる。 ・①人物の特徴，②文章から読み取れること，③自分の考えや感想，という構成に留意して書かせる。 【評】人物の特徴とその根拠，自分の考えを書く活動を通して，「思考・判断・表現」を評価する。 ・同じ人物を選んだ生徒同士，異なる人物を選んだ生徒同士など，実態に応じてグループ編成をする。

【 備 考 】